

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課文化センター

会議名 第10回諏訪市文化センター運営検討委員会

開催日時 令和8年7月27日(月) 17時30分～19時00分

開催場所 諏訪市公民館 視聴覚室

出席者 【出席者】高見 俊樹委員長、石城 正志副委員長、二村 悟委員、中島 昌之委員、宮嶋 孝枝委員、河西 風花委員、牛越 雅紀委員、金子 雄二委員、石田 名保子委員、山田 佳子委員、宮坂 寿子委員
三輪教育長、小林教育次長、小泉課長、関沢館長、福田主査
今井みどり教育委員(オブザーバー)

【欠席者】木村 修子委員

【傍聴者】一般 2名、新聞記者 2社

資料 資料①: 第10回諏訪市文化センター運営検討委員会 次第
資料②: 第10回諏訪市文化センター運営検討委員会 説明資料
別紙①: 諏訪市文化センター ビジョン・運営方針(案)
別紙②: 諏訪市文化センター運営検討委員会 実施報告
参考資料: 第9回諏訪市文化センター運営検討委員会 会議録

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1、開会

2、教育長あいさつ

3、会議事項

(1)前回のふりかえりについて

＜事務局より資料に基づき報告＞

(2)諏訪市文化センター ビジョン・運営方針の策定に向けて

＜事務局より資料に基づき報告＞

＜意見＞

○委員

- ・諏訪市文化センターが北澤会館として建設されてこれまで歩んできた歴史が分かるような表現について、ビジョン・運営方針(案)の中でも、リニューアル後の冊子の中でも良いので入れてほしい。

○委員

- ・運営主体が指定管理の場合、運営方針を中心に組み立てていくことが多いので、貸館事業も積極的に推進していくのであれば運営方針の中に入れ込んだ方が良い。

○委員

- ・歴史を入れ込むのであれば、文化センターが歌舞伎や能など古典芸能を目的として作られたという経緯も入れた方が良い。
- ・専門スタッフを入れることが決まっているのであれば明記した方が良い。

(3) 諏訪市文化センター運営検討委員会のまとめについて

<事務局より資料に基づき報告>

<委員からのコメント>

○委員

- ・2年間の任期中、皆さんとワークショップで話し合うなど普段あまりない経験をさせていただきとても楽しかった。
- ・私は数十年前に舞台に関わる仕事をしていた際にいろいろな文化会館で仕事をする機会があったが、その頃と比べると今の文化センターに求められるものは少し違ってきていることを運営検討委員会で感じる事ができた。
- ・文化を発信する場としての機能を持ちつつ、市民の安全を確保できる場として、そして何より若い世代の方はもとより幅広い年代の方が集える場として、諏訪市文化センターが愛される施設になってもらえると嬉しく思う。

○委員

- ・この委員会のように文化センターのファンが集まるような輪がどんどん広がっていけば良いと思う。
- ・今回のビジョン・運営方針の中に「地域社会のハブ」という言葉と広告宣伝を強化していくという表現があるが、これだけ素晴らしい計画を実行していくのは市の職員だと思っているので、準備期間やスタートアップの時には勢いのあるメンバーを揃えてほしい。そういった勢いのある職員をぜひ応援したいと思っている。

○委員

- ・自分は移住者なので、皆さんの実体験としての文化センターの話を聞いて楽しく勉強することができた。
- ・総合教育会議を傍聴した際に、諏訪のレガシーである文化センターの歴史をとてとても大事にしていることを感じて、ソフト面の充実も含めて未来像が見えてきたと感じた。楽しみにリニューアルオープンをお待ちしたいと思う。

○委員

- ・文化センターは個人的に生け花として利用していたが、施設が古いので出来栄えに影響があった。改修でキレイになれば花も映えるので、良い会館ができると期待している。
- ・高校生の柔らかい頭のアイデアがとても有意義で大事なことだったと感じた。
- ・この委員会の中で何かが生まれるように続いていくことができれば良いと思う。

○委員

- ・自分が歌手である第1歩がこの文化センターのステージだった。当時は消防署への申請など全て自分で届け出たが、これからスタッフのサポートが充実していけば良いと思う。これから大きな期待をしているので一緒に諏訪市を盛り上げていきたい。

○委員

- ・高校生の時に第1回定期演奏会を文化センターで開催したことを覚えていて、当時私たちにとって文化センターのステージに立つということは夢のまた夢であって、そこで演奏できる喜びは今でも忘れないような素晴らしい場所(自分の表現の場や新たな音楽との出会いの場、新たな人との出会いの場)だった。
- ・トライアルイベントで合唱を聞いたとき、ホワイエの音響が素晴らしく、演者と観客が良い距離感で鑑賞できて新しい可能性を生み出したことが委員会の中で一番思い出に残っている。
- ・これから諏訪市を作っていく子供たちにとって、このホールが文化芸術を体感できて、柔らかい発想力でチャレンジできる場になって、いつまでも使い続けていける場所になれば良いと思う。

○委員

- ・当時あった市民会館と北澤会館は雰囲気違う本当に素敵なホールだと感じた。その委員会に関われたことが嬉しく思う。
- ・皆さんの素晴らしい意見をたくさん聞くこともできて、本当に勉強になった。

○委員

- ・皆さんの意見はもとより、特に高校生の発想は普段味わうことのない意見でとても勉強になった。
- ・改修後の文化センターには反響板がつけられないということで、例えば生音に近いようなPAの使い方など、そう

いう機械や専門家を配置しないと生音の音楽をやることは難しいと思う。他施設をみても音楽を目的とした利用は多いと思うので、音楽をできるようにしてほしい。

- ・これから文化センターを大いに活用させてもらっていい方向に進めていきたい。

○委員

- ・この建物は歴史的建造物として未来に継承されていくことになったが、これからは市民の皆さんがこの施設や文化財とどのように関わり続けていくかというソフト部分の営みになると思う。これまで高校生を含む市民の皆さんがこの場集って意見交換を重ねてきたこと自体が新しいまちづくり、地域づくりの第一歩になっていると感じた。
- ・新しい建築の魅力を発見していただき、既成の枠組みを超えていく創造性のある取り組みや意見があり大変勉強になった。専門家ではなく、市民の皆さんに実際に利活用の側面から施設が持っている弱みをどう強みに変えていけるかなど深く議論いただき、専門家としても非常に嬉しく、文化センターという建物自体もおそらく喜んでいと思う。
- ・長らく利用されてきた歴史の蓄積に敬意を表すということは大切なことだと思っており、市民の主体的な取り組みによって生まれた新しい文化や新しいコミュニティの受け皿・拠点として、地域の愛着の記憶を将来に繋いでいながら育ていける豊かな場所になることを心から願っている。

○委員

- ・前回の振り返りでお話しさせていただいた専門スタッフをただ配置するだけでなく、市民団体などが関わる中でスタッフが育っていく仕組みについて個人的な意見として整理してきたのでお話ししたい。
- ・目的は、市民劇団を核とした人材育成の仕組みを構築し、市民自らが文化活動を支え、次世代に技術と経験を継承できる文化センターを目指すということ。
- ・演劇は照明、音響、大道具、その他もろもろを自分たちで行う総合芸術であり、そのノウハウは文化センターで使えるノウハウだと思う。文化センターは劇団を支援し、劇団はその専門技術を提供するという関係を作ることが市民が自ら関わることにつながる。ホールを支える人材の育成システムとして劇団を持つことに意味があると思う。
- ・駐車場係やチケットの取り扱い、場内の案内など、専門性を持たなくても関わるができる分野については、多くの市民に呼びかけて登録制にして、ボランティアスタッフとして活躍いただけるように同時並行で考えたらよいと考えている。
- ・舞台操作など安全性を担保するために、諏訪圏域で長く演劇や舞台芸術に関わっていた人に顧問になっていただき、専門技術を指導していただくことが良いと思う。また、芸術認定証を発行するような講習会を毎年開催して劇団の専門技術を認定してくれるシステムを同時に持つことが良いと思う。
- ・組織については、劇団だけでなく、文化センターの運営委員会のようなものがあり、音楽を含めたあらゆるイベントやホールの年間スケジュールについて検討することが良いと思う。委員会は利用者の代表や教育委員会、有識者で構成し、その下に劇団があつて、技術的なサポートをするというような関係で、さらに専門性がなくてもできる市民サポーター組織を作れば、多くの市民が運営に関わる、市民が育てていくような文化センターになるのではないかな。

○委員

- ・今後、任期が切れたとしても、意見や提案などあれば事務局にお伝えいただきたい。
- ・北澤会館の歴史の話をする、当時はたくさんの労働者が朝晩文化センターの通りを行き来していたような、賑わいにあふれた場所であったことを少しだけ知っている。これからささやかな活動の拠点として新しい文化センターが機能して人が集まってもらえるような場所になれば嬉しい。
- ・今後、新しい組織など検討していくと思うが、極力市民の意見をうまく吸い上げながら進めていただきたい。

○委員

- ・文化センターは部活の発表の会場でもあったので大好きな施設ではあったが、一人の高校生として要望をお伝

えできていたら良いと思う。とても貴重な経験になった。

- ・将来の学生にとって心地の良い場所になるような文化センターになったら嬉しく思う。

4、その他

(事務局)

- ・本日の会議をもって諏訪市文化センター運営検討委員会が終了となる。皆さんの任期は 7 月 28 日で終了となるが、今後は本日の委員会の内容を反映したまとめ資料を後日皆様に送付させていただく。
- ・ビジョン・運営方針の策定に向けた動きや広報すわの情報発信等もあるので、委員の皆さんにはメール等で情報を提供させていただきたいと思っている。

5、閉会